

# 長崎グリーンヘルパーの会会報

発行責任者 会長 前川文雄  
長崎市戸町 2-6-12

## 春の花ばな満開

桜の花が終り、里山の草木は  
花や新緑の春本番を迎えた

写真提供；小林 征雄さん



外海黒崎の 桐の花



稲佐山公園の 藤の花



小林氏自宅の エビネラン



菜の花と芝桜(あぐりの丘公園)



諫早中央干拓地の クリムソクローバー

## 長崎大水害 40 年追悼慰霊 「竹灯かりの会」

- 4月19日 実行委員会準備会議 40年追悼慰霊イベント内容  
NGH 出席者；根岸ユ
- 5月19日 同上、第2回会議 299本の竹灯籠製作など具体的作業スケジュールなど決定  
NGH 出席者；前川、根岸ユ
- 6月4日 竹灯かり用竹の切り出し  
NGH 出席者；小林、田中、前川





## 遠藤周作文学館屋外整備

(長崎市東出津町)



4月10日(日) 参加者 峰,片山,田中,久田,中橋,根岸ユ,根岸マ,根岸ア,細川,森  
5月28日(土) 参加者 峰,久田,田中,中橋,片山,森



4/10



4/10



4/10 参加者

4/10 活動・・・アジサイ周りの草取り、傾斜地草刈り  
ソメイヨシノが終わり、八重桜やツツジの花が見頃を迎える絶好の春日より、10人の多数が参加しての、今年初めての活動となった。

西側傾斜地の草刈りは、刈払い機3台で早々に終了。アジサイ周りは手鎌などにより草取りをおこなった。アジサイ周りの草取りは、雑草が相当繁茂しており、今日中の終了は無理かな?と予想していたが、みんなの頑張りによりほとんど終わった。

これから記念樹のアジサイとハマボウの花が見頃を迎える6月、7月が楽しみである。

5/28 活動・・・アジサイ周りの草取り、傾斜地草刈り  
約1ヶ月半ぶりの活動で、草はどこも勢いよく伸びていた。アジサイはもう五分咲きほどで、今年は痛んだ花もほとんどなく見事に咲き始め、まもなく満開を迎える。

草刈りはいつも通り、傾斜地と展望所の芝生広場を中心に行ない、アジサイ周りの草取りは手鎌等により行なった。アジサイが大きく育った処は、雑草の勢いが衰え、だいぶやり易くなった。

森 俊一

### まもなく満開のアジサイ



5/28 きれいに刈られた展望広場



## 梅松鶴竹林整備

(長崎市西坂町)



4月17日(日) 参加者 多田マ,栗山,田中,小林,根岸ユ,多田チ  
5月8日(日) 参加者 多田マ,栗山,田中,小林,前川  
6月19日(日) 参加者 多田マ,栗山,小林,田中

# 農業体験

(雲仙市瑞穂町)



4月30日(土) 参加者 片山,中橋,細川,森,梅澤夫人  
 5月21日(土) 参加者 片山,中橋,細川,森,前川,梅澤夫人  
 6月4日(土) 参加者 片山,峰,根岸ユ,根岸マ,根岸ア,森,梅澤夫人

## 春ジャガ収穫、サツマイモ植付け



5/21 ソラマメ収穫



5/21 収穫前のジャガイモ



6/4 参加者

- ・4/30 ジャガイモの土寄せ、タマネギ収穫
- ・5/21 ソラマメ、ニンニク収穫、草刈り
- ・6/4 ジャガイモ収穫(春ジャガ)、サツマイモ(蔓)植付け

梅雨入り予報はすっかり変わり、朝から太陽が照りつける暑い一日となった。  
 午前中全員でジャガイモの収穫をおこなった。比較的小ぶりのものが多かったが、収穫量はまずまずだった。最近一週間ほど雨が降らなかったため、土が硬くなり堀上げには手間取り、傷つける芋も多かった。

午後はサツマイモの植付けを行なった。仮の畝を作っていたが、その畝に溝を切り、10cmほどに切ったワラをすき込み、土を被せ畝を高くし、市販のサツマイモ蔓50本を(2種)3畝に植付けた。最後に水をかけ植付け終了。明日の雨予報に乞うご期待である。

森 俊一



6/4 ジャガイモ収穫作業



6/4 サツマイモ植付け

## 入船町竹林整備

(長崎市入船町)



5月22日(日) 参加者 栗山,小林,多田,前川

## NGH 花見



コロナがだいぶ落ち着いたことから、久々に NGH の会主催の花見が行なわれ、10人の参加者がありました。

2022年4月3日(日) 場所…長崎市立山公園

参加者…多田,栗山,小林,片山,根岸ユ,根岸マ,松下,峰,馬場,前川



## ハイキング部



### 金泉寺参道ウォーキング

### 六岳を踏破

日時 2022年3月27日(日)11:15~16:05

参加者; 前川,栗山,根岸ユ,根岸マ,根岸ア,馬場,多田,小林

コース; 一の宮岳(827m)~黒木岳(881m)~前岳(982.7m)~  
国見岳(994m)~多良岳(982.7m)~金泉寺(870m)

距離も奇岩もある難コース  
全員完踏!!



一の宮岳山頂で昼食



前岳 鬼の岩屋



多良岳山頂をバックに

今日のウォーキングの目的は、金泉寺参道の完走と奇岩が続く前岳への登山です。

多良山系は長崎・佐賀県境の山々で、浸食されやすい火山層の上に、安山岩が台地状に残った岩山でできているため、奇岩が多く残っています。

まず、諫早市高来町にある金泉寺参道入口「一の鳥居」を確認し、車で登山口まで移動。

ここで前川さんから地図上での現在地の見方や休憩地点で地図に時間をメモすることの大切さ等の教示を受け、11時15分出発。40分で一の宮岳へ着き昼食と休

憩をとった後、黒木岳を経て前岳登山へ、一步一步、時にはすべりながら山頂へたどりつく。山頂には鬼の岩屋、座禅岩等のなまえがついた奇岩が私たちの行く手をふさぎ、そこを乗り越え、すきまを素り抜けながら、多良岳、金泉寺へと午後4時5分に到着した。

途中、黒木岳では群生した名前を知らない草花や、多良岳では咲き誇ったマンサクの黄色い花には心を癒やされ、前岳の奇岩の数々と共に満喫したウォーキングとなった一日でした。

小林 征雄

## 鳥甲岳から二合半岳

6月12日(日) 参加者 前川,小林,馬場

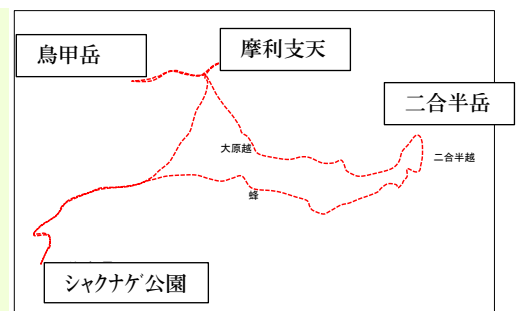
行程: 大村しゃくなげ公園 9:40-10:00 鳥居(登山口)-10:50 摩利支天-11:10 鳥甲岳-11:55 大原越 12:00-13:00 二合半岳(昼食)13:30-13:40 二合半越-14:40 しゃくなげ公園

健脚者コース!!  
トレイルランナーも

しゃくなげ公園から舗装道を歩き左手の別荘の先にある鳥居から登山開始。鹿除けのネットに添って登ると舗装林道に出る。これを横切り前の鳥居をくぐって登り続ける。尾根を直登する道は前日の雨の為に滑りやすい。稜線近くで大原越からの道が右に出会うとすぐに稜線に上がり込む。この標識は緑の募金によるものだが、「摩利支天」が「魔利支天」となっており苦情が出ているようだ。まず、右の摩利支天に行く。大きな石碑が二つあり左は「鳥甲摩利支天宮」、右は「日露戦役解願記念」の文字が彫ってある。コ

ルに戻って鳥甲岳へ向かう。山頂からの展望はないが769.4mの三角点がある。

大原越へ下ると4方向への標識がある。ここで地図を出し地形図に基づく先読みをレクチャーする。尾根には3カ所所急登があり、4つのピークを辿って頂上に向かい、登山道はすべて尾根上であることを確認して出発。すぐに急登となる。ピークの数を確認しながら登ると、頂上手前に直登と巻き道の標識がある。当然直登を選ぶ。



すでに 12 時を回っているためお腹が減ってきた。頂上で昼食をとった後、二合半越への方向を確認し下山を始めた。歩く者が少ないようで道がはっきりしない。林道に出た所でトレイルランニングの練習に来ていた二人組みと会う。ひとはスリップしたようで肘と脛の上を怪我している。きれいに舗装された林道を下り、橋の手前にミツバチの巣箱がたくさんあったので、注意を促していたら蜂を刺激したのか、右肩の後ろを一匹に刺された。しゃくなげ公園に戻って見てもらうと針は残っていなかったので、虫刺されの薬を塗ってもらった。

前川 文雄



鳥甲摩利支天宮石碑

## 野鳥観察



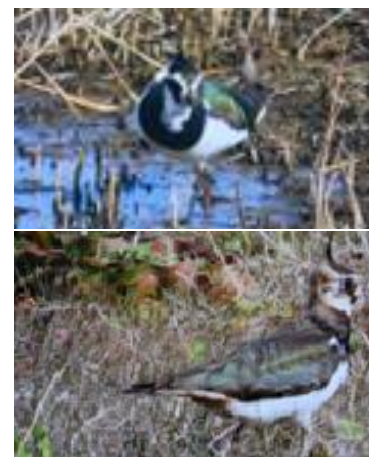
小林 征雄

### タゲリ

タゲリは長い冠羽を持つ大形のチドリ仲間です。

冬鳥で 10 月から 4 月にかけて、水田や河川などの湿地で見られます。昆虫やネズミ等を食べ、普通は群れで暮らします。警戒心が強く、近づくと猫のような声を発して、飛び立ちます。

写真は、本年 1 月 20 日諫早中央干拓地の水田で四羽いるタゲリを見かけ撮影したものです。



### タシギ

タシギは全長 26 cm の口ばしがまっすぐ長いチドリの仲間です。背中の黄褐色の縞模様が目立つ鳥で、枯草の中では保護色となり、見つけにくい。

北海道では旅鳥ですが、九州では冬鳥です。水田や沼地をこのみ、ミミズや甲殻類などの小動物を食べます。

写真は 1 月 20 日諫早中央干拓地の沼地と 2 月 3 日外海町黒崎永田湿地自然公園で撮影したものです。

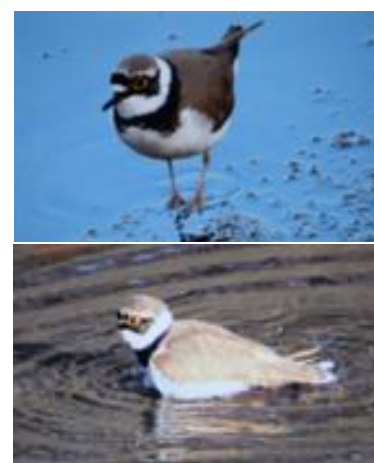


### コチドリ

コチドリはチドリの仲間中最小の鳥で、小さなチドリからコチドリと名がついたものです。目が黄色いアイドリリングがあるのが特徴です。

全国に分布し、体長 16 cm、素早く歩いて急に止まって昆虫などをついばみ、再び歩くと言う動作をします。

写真は、長崎市総合運動公園調整池に 3 月 19 日飛来し、水浴びをしていたのを撮影したものです。





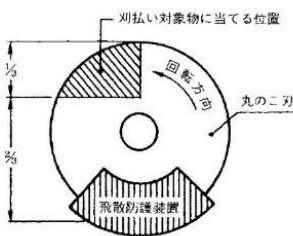
# 刈払い機の安全使用について

前川 文雄

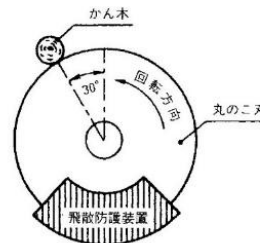
## 1. 刈払機使用上の注意

1. 作業に適した服装で、すね当て、保護帽、ゴーグル、耳栓、手袋、笛が必要
2. 責任者を決めておくこと、緊急連絡先を確認しておくことが大事
3. 作業前に小石や空き缶等を除去し、近接作業は禁止、作業中に不注意に近づかない
4. つる草が絡まったときは、必ずエンジンを止めてから取り除く
5. 刃先は左前方に少し傾けて草に充て、刃先の当てる位置を守って作業する
6. 刈り幅は約 1.5m程度にし、振り回さず、右から左へ刈った草をまとめながら進む
7. 斜面では、上下で同時に作業しないようにし、作業手順は横移動と縦移動で行う
8. 進行方向の先まで行ったら、エンジンを止め始点まで戻って作業を開始する
9. 長時間の連続作業は振動障害や事故のもと。30分作業したら5分休む
10. 作業時間は、作業後の手入れの時間を含めて計画する

### 草類の刈払い位置

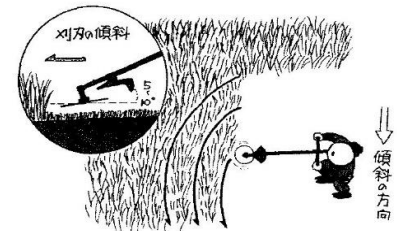
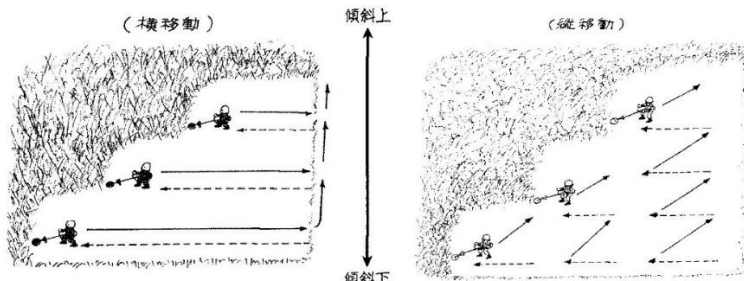


### かん木等の刈払い位置



- 地面が見えないほど草が茂っていた場合は、最初に半分の高さで刈り、次に地際で刈る。(二段刈り)
- 太い灌木は力任せに切らず、手ノコ等を適時使用する。

## 傾斜地作業の基本



## 2. 刈払い機の点検について

1. 使用前には、刈刃の損傷や変形、ねじのゆるみを確認する。
2. 刈刃が欠けていると振動のもとになるので取り換える。
3. 作業後は、刈刃、冷却フィン、操作桿などに付着した草や泥を除去する。
4. しばらく使わない場合は、空運転して燃料を抜く。
5. エンジンの調子が悪い場合は、知識のある人に点検をお願いする。
6. フィルターやゴムの部分は、定期的に取り換える。

## 3. 事件事例

1. 刈払機を大振りしたことにより、転倒して自分の足を切った。
2. 近接作業をしていたため、キックバックで近くの人を切った。
3. ゴーグルをしていなかったため、刈刃が飛ばした石が目当たった。
4. 作業場所の近くに車を停めていたため、飛ばした石で車のガラスが割れた。
5. ハチの巣に気づかず作業したため、大量の蜂に刺された。

出展；刈払機取扱  
作業心得